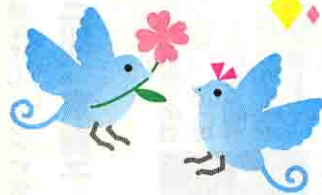




# プロポーズ大作戦



毎年6月の第1日曜日は「プロポーズの日」。プロポーズをするきっかけの日にしてほしいと1994年に全日本ブライダル協会(※)によって誕生しました。古くから6月の花嫁は幸せになれるといわれています。そんな6月にプロポーズすれば、きっと幸せになれるはず。今年の「プロポーズの日」は6月7日。今から相手の心に残るようなプロポーズをするための作戦を考えて、実行してみませんか。

※主に婚礼に関わる人々の人材育成を目的に設立されたNPO法人。会長はデザイナーの桂由美さん

## 私たちのプロポーズ

### 体験談

●学生時代、イギリスに短期留学した私。日本が恋しくなってきたある日、家の前に当時交際していた彼の姿が！ロンドンの街を歩きながら、「卒業したら結婚してほしい」とプロポーズしてくれました。残念ながら彼とはうまくいかず、いまだに独身です。(ユキ、女性)

●同期入社で友達同士だった2人。彼が東京に行くことが決まり、彼を好きな気持ちを抑えられなくなった彼女から「仕事を辞めて東京へ行きたい」と勇氣ある逆プロポーズ。無事に受け入れられ、今は1児の母に(石ちゃんの友達、女性)

●長崎のランタンフェスティバルの帰りに「結婚しよう」とプロポーズ。シンプルだけど、旅先という普段と違う場所が盛り上げてくれました(ファックくん、男性)

### 妄想編

●某人気アイドルグループのMくんがプロポーズされたんです。コンサート中にたくさんのファンの中で「この中に結婚してほしい女性がいます。あなたです！」みたいな公開プロポーズを希望。想像すると顔がにやけます(みかん、女性)

●車の助手席に置かれた箱の中には鍵。何の鍵だろ?と開けてみる私に「2人の新居の鍵だよ」と彼。嬉しいです。新築の家だった(最高!、なかなか、女性)

●ホテルのレストランでプロポーズしました。合図を出したら花束を持ってきてもらうよう、事前に店に手配。店員に助けてもらって、一生に一度の大勝負は成功しました(頑張ったパパ、男性)

●観覧車が大好きな私。デート先で見つけた観覧車の中で、突然「結婚してねえ」と彼からプロポーズ。「私が30歳になるまで待つ」と答えた私を待ってくれた彼と、昨年結婚式を挙げました(あやこ、女性)

●中学3年の秋に交際を始めた私たち。進学時に「大学を卒業して28歳で結婚しよう」と言われたのが最初のプロポーズ。その後、予定より少し遅くなったけれど、ずっと一緒にいてほしい」と改めてプロポーズしてくれました。23歳は過ぎてしまいましたが、25歳で結婚し、今でも幸せな毎日を送っています(みゆきさん、女性)

●ドラマなどで指輪をはめてあげて彼女をビックリさせるというシーンがあるけれど、「好みの指輪じゃなかったら」「サイズが合わなかったら」と現実主義の私はつつい思ってしまう。それなら最初から「一緒に指輪を買いに行こう」と言われたらいいな(チオ、女性)

●夏の日、夜空を見上げているとき、大ききまきれいな火花がたまたま上がって、その中に「結婚しよう」といつか文字が出てきたらいいな(現実系普通、女性)

## 北九男子のプロポーズはあっさりめ?

今回寄せられた読者の体験談で最も多かったのが「特にロマンチックな演出もなく、シンプルな言葉だけだった」という意見。もしかすると北九州の男性は凝ったプロポーズを恥ずかしいと思っているのかも。

ところが「プロポーズに関する意識調査」(※)によると、全国の男性はそうではないようです。プロポーズにかかる予算を「20万円未満」と回答した男性は50.2%と最も多いのですが、2008年に行われた調査結果と比較すると「20万円未満」の回答は約1割減り、逆に「20~40万円未満」と回答した人が約1割増えています。不況下であっても「一生に一度のプロポーズの演出は手を抜かない」という男性の意思が感じられるようです。



※2009年4月、ブライダルリング専門店「アイブリモ」が20~30代の未婚男女400人を対象にインターネットで実施

## 心に残るプロポーズにするために...

### 恋人の聖地プロジェクト



ブルーウイングもじ

プロポーズの場所にもこだわりたい。そんな人には「恋人の聖地」がおすすめです。全国の観光地の中から選ばれたプロポーズにふさわしいデートスポット「恋人の聖地」。北九州市内では門司港レトロ地区のはね橋「ブルーウイングもじ」が、近郊では「福岡タワー」(福岡市)、「海峡ゆめタワー」(山口県下関市)などが登録されています。HP (<http://www.seichi.net/>) に聖地マップが紹介されています。

### 単行本「結婚してください。」

今年で3回目を迎える「全国プロポーズの言葉コンテスト」(主催/NPO法人地域活性化支援センター)。同コンテストに寄せられた174組のカップルの人生をかけたプロポーズの言葉と、その感動的なエピソードを1冊に集約した「結婚してください。」(河出書房新社、1365円)が、6月2日(火)に発行されます。これからプロポーズする人の強い味方になってくれそうですね。



2008年の最優秀作品は「途中参加のパパだけど、本当のパパにしてください」。バツイチ子持ちのシングルマザーが初婚の彼と付き合ってから1年。子どものパパになりたいという家族思いの彼からのプロポーズにジーンときたそう。

### メッセージローズ

誰だって花をプレゼントされると嬉しいもの。そこにプロポーズの言葉が隠されると、さらに嬉しさも倍増です。「メッセージローズ」は、花びらの外側に好きなメッセージ(1行全角10文字で最大3行まで)を直接印刷することができます。文字の色は13色。「1本バラBOX入り」(4625円)、「メッセージローズ入り花束」(5250円から)など。いずれも送料込み。問03・3498・0326(アニバーサリープランニング)

